

# 愛友園の広報誌

# ふれ愛

令和8年  
新春号  
第56号  
2026.01.20



編集：広報誌編集委員会

※ホームページが新しくなりました！

New <https://aiyuen.jp/>

発行：社会福祉法人愛友園

養護老人ホーム愛友園 特別養護老人ホーム愛友園

〒310-0034 水戸市緑町3-9-35

TEL：029-221-6157 FAX：029-225-7430

E-mail：aiyuen@rose.ocn.ne.jp



新年おめでとうございます

今年も宜しくお願いいたします

理事長 齋藤 亮

旧年中は、当法人の運営につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は法人の運営体制が一新され、役員、職員が新たな気持ちで一丸となつて高齢福祉サービス、介護保険サービスの提供に努めてまいりました。

また、職員が働きやすい職場環境を整える取組として、インカムシステムやお掃除ロボットの導入等も実施いたしました。

インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症の影響もいまだに続いており、高齢者施設として警戒を緩めることはできませんが、無事に一年を終えることができました。

新しい年を迎え、職員一同、より一層のサービス向上に努め、利用者の皆様、ご家族の皆様が安心して過ごしいただける施設サービスの提供にまいります。



## 新年会

今年も披露して下さいました。お囃子を披露して下さいました。



令和七年度感染対策スローガン  
心と体の健康管理  
みんなで作る快適職場  
に決定いたしました。  
今年度も職員一同感染予防に努めてまいります。

# 笑運動会

## 【特養】



十月下旬、デイルームにて笑運動会を開催しました。移動が少なく済むよう工夫し、身体の動きに制限がある方も参加しやすい内容にしました。

特に盛り上がったのは新聞綱引きです。足がしっかり床に着くことができれば誰でも参加できる為、多くの利用者さんが力一杯引き合い、「がんばれー！」と応援の声も自然と大きくなりました。

普段は両手を大きく上げる機会が少ない方も、「バンザイ！」と笑顔で手を伸ばし楽しそうに参加されていた姿がとても印象的でした。



新聞綱引き！

## 【養護】

養護は屋上で開催しました。玉入れやパン食い競争、じゃんけん大会を行い、白熱した戦いが繰り広げられました。

初冬の風に暖かい日差しが加わってとても良い天気です。スタートし、会場からは明るく大きな笑い声も響き渡りました。「来年も元気で参加します！」と声を掛けて下さった利用者さんもいて、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

じゃ〜んけんぽん!!



優勝は赤組！  
嬉しいな♪



## 特養散歩 歴史館の銀杏並木へ

利用者の皆さんと歴史館周辺へ散歩に出かけました。当日は秋晴れで、気持ち良い陽気の中、外の空気をゆつくり楽しんでいただけました。  
銀杏が色づく道を歩きながら、車椅子に乗っていた利用者さんが「歩いてみつか」と話され、少しではありますが歩いて散策することもできました。良い息抜きとなりました。



## 秋の遠足

### 〜食品工場見学へ〜

十一月中旬、養護の利用者さんと水戸市内にある「お菓子夢工場」へ出かけました。  
製菓工場では、水戸の梅と吉原殿中の製造ラインを見学し、お菓子の博物館も見学しました。西洋のお菓子や和菓子の歴史も学ぶことができました。  
昭和ノスタルジックコーナーでは昔懐かしいお菓子などの展示を見て「これ知ってる？昔よく食べたんだよ」と、子供の頃を思い出しながら楽しそうにお話してくれました。  
昼食は、市内の飲食店で食事をとり、帰りは千波湖へ紅葉ドライブへ行き、充実した一日になりました。



# 手打ちそばを味わう

## そば打ち会



十二月の調理クラブで、手打ちそばと具沢山けんちん汁、天ぷらを利用者さんと一緒に作りました。

皆さんとても手際がよく、里芋の皮をむいたり、野菜を切ったり、あつという間に下ごしらえができました。

本格的なそば作りは、初めての方が多く、調理師さんに教わりながら一生懸命に行っていました。そば生地に艶が出るようにこねたり、細く切る行程が難しそうでした。



できあがった料理を食べて、「最高！こんなに美味しくできてよかった」  
「作る過程が楽しかった。そばもコシがあつて美味しい」と喜ばれていました。



# 笠間浪漫

陶芸は、長年続いてきた愛友園の伝統のひとつです。今年約六年ぶりに十月上旬に行われる笠間浪漫に出店し、たくさんの方の来場者の方に愛友園と陶芸の取り組みを知ってもらおうことが出来ました。

陶芸に携わる利用者さんも見学を訪れ「次はこんな風を作ってみたい」「ここを参考にしてみよう」と、次の作品作りに向けての意欲を高めていました。



# インカムを活用した

## 介護支援

愛友園では、今年度「インカム（小さな無線機）」を導入しました。インカムを使うことで、離れた場所にいる職員とその場ですぐに連絡を取り合えるようになりました。

「○○さんのお手伝いお願いします」「今○○に向かっています」といった声をリアルタイムで伝えられるため、職員同士の連携がとてもスムーズになりました。

これまでよりも素早く情報を共有できるようになったことで、利用者の方への対応もより丁寧になり、安心して行えるようになっていきます。

また、急なサポートが必要な時にもすぐに助けを呼べるため、職員も心強く感じていきます。これからも、より安全で質の高いケアを提供できるよう、インカムを活用しながらチーム全体で協力していきます。



## 寄附

株・茨城県社会福祉事業協力会様  
茨城県共同募金会様  
株・ハセツプワン様  
小林 茂代様

## 寄贈

園部 司様  
加倉井 亨様  
加藤木 孝嘉様(かとうぎ農園)  
水戸市高齢福祉課様  
匿名三名様

## ボランティア

村山 悦子様  
野田 サヨ子様  
若狭 充子様  
梶原 道子様  
齋須 博様(二松亭ちゃん平様)  
茨城県立水戸第三高等学校  
家庭クラブ様  
水戸市立第一中学校様(菊鉢交流)  
**慰問**  
鉾田市七軒町はやし連様



### ありがとうございました

(令和7年7月16日～令和8年1月15日)

## 行事予定 (令和八年二月～七月)

- 2月 節分(豆まき) デザートバイキング
- 3月 ひな祭り お彼岸
- 4月 お花見会 青空屋台
- 5月 特養：小ドライブ 養護：遠足
- 6月 ランチバイキング
- 7月 花火会

## 落語を楽しむ会

齋須博さん(落語家名…二松亭ちゃん平さん・茨城キリスト教学園高校教頭)をお招きし、利用者として職員で落語を楽しむ会を開催しました。「時そば」と「つる」をご披露いただき、利用者の皆さんが、笑顔で過ごす時間を設けられたことを職員一同大変うれしく思っております。ありがとうございます。



## 陶芸を通しての地域交流

愛友園には、利用者さんや職員が陶芸を行う作業室と地域の方が利用されている別棟の地域交流棟があります。現在は、八幡荘陶芸クラブ様が長年、週に一度ほどの頻度で陶芸をされています。陶芸用の粘土や作品を焼成する窯もあるのです、愛友園内で作品を完成する事が出来ます。他施設で作成した作品を焼成する事もあり、陶芸を通して地域の方々と交流をする事が出来ます。



## 特養における苦情解決体制と内容について

令和七年一月から十二月まで、ご家族や利用者さんからの苦情として取り上げられる内容はありませんでした。一方で、利用者さんからの入浴に関する要望が挙がり、「お風呂に入るまで起きて待っているのが辛い・疲れてしまう」といった内容のご意見をいただきました。対応として、誘導するタイミングを調整し、出来る限りお待ちさせることがないよう介護士間で話し合いを行いました。今後も利用者さんの状態や特性に応じた対応を心掛け、取り組んでいきます。

## 編集後記

※年末の大掃除に向けて片づけを始めたつもりが、気づけば「少しずつ散らかる」方向へ進んでいる今日のごころ。施設の方さんの整理整頓の上手さを見るたび、「我が家にも出張サービスをお願いできないものか」と本気で考えてまいります。(M・T)

※昨年、家を購入しました。打ち合わせや情報集めに追われる一年でしたが、これから建っていく家を楽しみにしながら、完成後は家でのんびりと過ごしたいと思えます。(S・N)

※一歳の息子はサッカーの試合や応援映像を見るのが好きなようです。応援歌に合わせて腕を振ったり手拍子したり：盛り上がるシーンでは「うおおおお!!」と両手を挙げて大興奮。既に立派なサポーターです。(M・I)

※十数年ぶりに成人した娘と二人でデイズニースーへ。小さな頃の思い出話をしながら楽しみました。(C・K)

※最近、女性アイドルグループにハマっています。可愛いだけでなく、いいのかもしれない(笑) 今年もまた一つ趣味が増えて忙しくなりそうです。(Y・T)